

(株)シンコーの事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1938年に広島県に創業したポンプ、タービンの専門メーカー。国内外に拠点を置き、一般商船、陸上プラント、ガス船・基地事業、海洋開発事業を展開している。
- 原油タンカー用カーゴオイルポンプ及び駆動用タービンで世界シェア80%以上、船用LNG(液化天然ガス)ポンプの世界シェア90%以上、陸用発電機タービンの国内生産台数1位を誇る。
- 鋳造工程からアフターサービスまでの一貫したバリューチェーンを築く。高品質かつ安定した価格競争力のある製品の提供のみならず、迅速なアフターサービスにより差別化を図っている。



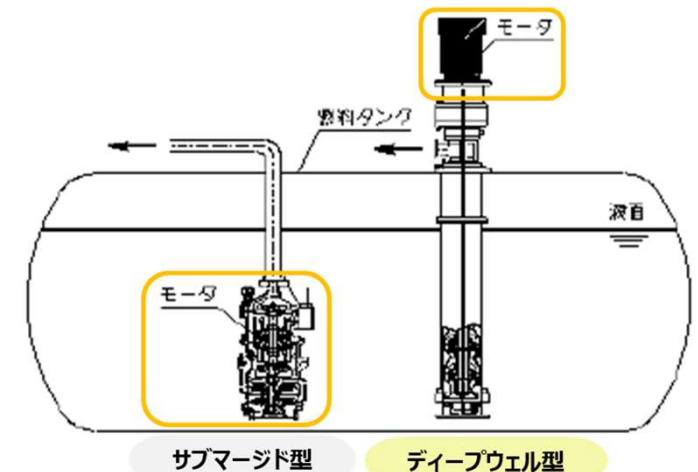
【本社外観と主要製品】

計画の概要

- 重油に代わるクリーンエネルギーであるアンモニアやLNGを燃料とする燃料供給ポンプは、安定した新たな需要が期待されているところ、従来型(サブマージド型)に比べてメンテナンス性等で利点を有するディープウェル型ポンプの開発・製造を行う。
- 海外メーカーが高いシェアを占めているアンモニアやLNG燃料供給ポンプについて、国内の燃料供給システムメーカーとともに「オールジャパン」で信頼のある製品を市場展開する。
- 新製品開発にあたり、新工場の建設と型式認証に必要な検査体制の構築・生産設備の増強を図る。

＜計画実施期間＞ 2026年9月～2030年10月

＜実施場所＞ 府中工場(広島県安芸郡府中町)、五日市工場(広島県広島市)



【開発する製品(右)】